

発行 社会福祉法人 聖友ホーム
聖友乳児院（乳児院）
聖友学園（児童養護施設）



絵 A子さん

目次 ●コラム 「コミュニケーション」 江戸川大学 講師 木村文香 2
 ●ふわふわ 2006年 夏の思い出 4
 ●このゆびとまれ 乳児院ボランティアさんの紹介 6
 ●「ありがとうございました」 7

〒166-0001 杉並区阿佐谷北 3-28-19

聖友乳児院 TEL 3338-1849 FAX 3338-4679

聖友学園 TEL 3338-1844 FAX 3338-1894

Eメール（共通） seiyugakuen@nifty.com

コミュニケーション



江戸川大学社会学部人間心理学科

講師 木村文香

今回、既に懐かしさを感じるようになってしまった聖友ホームのぴーちっくに、原稿を書くことになり、何を書こうか・・・と、色々考えてみました。子どもたちが幸せに成長していく上で大切なこと、そして私たち大人も幸せに過ごすために大切なことを書きたいな・・・心理学を専門とする私が今、書けることはなんだろう？ そんなことを考えて、「コミュニケーション」というタイトルをつけました。今年の夏に体験した出来事思い出したので。

今年の七月に国際シンポジウムがあり、香港に出張しました。これまで仕事で海外に行くときは先輩と一緒に、人数も五名くらい。でも、今回は初めて先輩との二人旅でした。しかも初めての香港。公用語は英語とはいえ、多くの人が話している中国語は全くわかりません。「しつかりしなきゃ！」と肩に力ばかりが入り、胃まで痛くなってしまうました。そ

んな香港一日目、夕食を求めて入ったお店は、これまた英語さえ全く通じなさそう。ガイドブックに載ってたのに・・・と言いつつ入ると・・・入っても誰も相手にしてくれませんか。「いらつしやいませ。何名様ですか？」に慣れている我々には、とても冷たく感じられてしまうレストランでした。無表情にメニューを持ってきてくれたのは、ベテラン風のウェイター氏。メニューも中国語で、漢字を頼りに先輩と一緒に選び、なんとか注文をしてみると、最後の一品にはどうしても返事をしてくれませんか。思わず彼の顔を見ると、困った顔をして、何かを中国語で言いながらメニューの値段の欄を指したり、他のメニューの値段の欄を指したりしています。すると先輩が「あ、高いんですよ！ すごく！」と。なんと、私たちは、一品で二万円近くする（他はだいたい千円前後なのに）メニューを頼もうとしていたのです。それを、彼は一生懸命教えてくれていたのでした。先輩が、けっこうなオーバークッションで、「オッケー、オッケー！ わかった！ 高いのね！」と明るく応対すると、彼はやつと笑顔になり、領いてくれました。そして食後、頼んでいないのに、おぜんざいが出てきました（お餅は入っていま

せんでしたが、日本のものとはほぼ同じ！）ビックリして目が点になってくる私たちに、彼がおもむろにペンを取り出し、紙のランチョンマットに「送」と一文字書いて、にっこり私たちにほほえみかけてくれました。「おくりもの」というわけで、サーブスだったので。緊張しまくりだった私は、このおぜんざいで一気に緊張が解け、楽しく香港出張を過ごすことができました。

私の念頭には「中国語はわからない」というのがまずにあり、「言葉が通じない！ どうしよう！」という不安が無駄にあつたのだと思います。つまり、私のコミュニケーションは、言葉に依存しきつたものだったので。実はこの先輩、幼児教育が専門で、幼稚園で長くフィールドワークをしています。一方私は、聖友乳児院を離れてからは、「大人」と言われる年齢層の人たちとの交流が中心の生活です。つまり、ある程度言葉のやり取りで分かり合える相手としか、コミュニケーションをとっていないのです。乳幼児期は、言語についてはまさに発達中であり、言葉のやり取りをしていても、100%言葉だけで分かり合うのはなかなか難しい面もありますね。先輩は、日頃のフィールドワークの賜物か、言葉

に依存しないコミュニケーションに長けていました。一生懸命に何かを伝えてくれようとした彼と後輩の間には、「音」はあっても言葉はありませんでした。それでもきちんとコミュニケーションが成立しました。最後のおぜんざいにももちろん言葉はありません。それでも、私は非常に癒されました。「送」という一文字。日本語であれば「贈」になります。その一文字と、おぜんざいにこめられた優しい心遣いが本当に嬉しかった。

「言葉もわからないのに日本（というの）がわかっていたかどうかも謎ですが）から来た女の子（？）二人」への、あたたかい気持ちは十分すぎるほど伝わってきたのです。ちなみに後輩の名誉のために付け加えますが、彼女はいつも本当に難しい英語の文献を読んでいます。語学力はむしろ高い子です。

私はこれまで海外に仕事で出かけるときには、「相手も人間、なんとかなるさ」で、切り抜けてきていました。なので、言葉以外でのコミュニケーションには慣れているつもりだったのに、いつの間にか、言葉に依存してしまいました。語学に自信があるわけでもないにもかかわらず、です。言葉に依存するコミュニケーションが不便だというのは、外国語に

限らないと思うのです。例えば、私が以前、携わっていたある地域の保健センターでの一歳半健診の心理相談で、一番多かったご相談は「言葉が遅い」というものでした。中には、本当にプロの療育の手が必要なケースもありましたが、多くは、「言ってることは通じている」状態でした。たしかに言葉がいつ頃出るのか、何語出ているのか、というのは発達を知る上では重要な指標の一つです。でも、言葉はなぜ必要なのでしょう？ それはコミュニケーションをとるためなのです。言葉は、コミュニケーションをとるための暗号にすぎないのです。なので、「言っていることは通じている」お子さんについては、養育者の方に「コミュニケーションがとれるかどうかが大切なんですよ」とお話ししていました。結局大切なのは、思いが伝わるかどうか、ですよね。言葉によっては、発した人によって意味が異なってしまう場合もあります。込めている意味が違う場合もありです。言葉に依存しすぎてしまうと、そういう場合のコミュニケーションが実にスムーズではなくなるのです。場合によっては、大きな誤解に発展してしまうこともあるでしょう。コミュニケーションの大切さ、本当のコミュニケーション

ョンが持つ意味は、実はあまり言葉自由には操れない子どもたちから学ぶところが多いかもしれません。彼らは全身でコミュニケーションをとっています。

私は、久しぶりにちびっこから離れた日常を送るようになった今年、ちびっことたくさん関わっている後輩と過ごすことで、コミュニケーションの意味を、考えさせられる機会を得ました。「いらつしやいませ。何名様ですか？」に始まる日本のファミリーレストランと、黙っていても、最終的には歓迎し（おそらく）、もてなしてくれた香港の食堂。どちらも「心がこもっている」とそこで言葉を超えたコミュニケーションがスタートするのだなあと思いました。みなさんはどう思われますか？

〈プロフィール〉

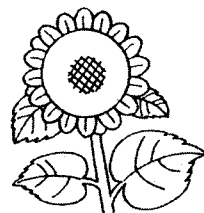
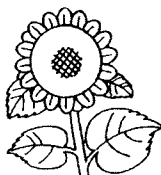
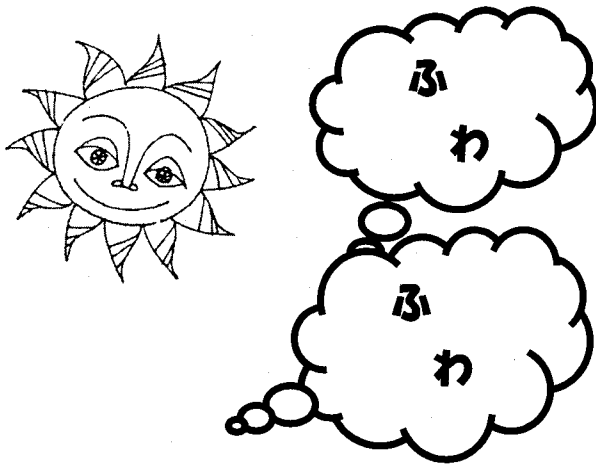
お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程 単位取得退学。児相相談所、保健所、精神保健福祉センターにおいて心理相談員を務める。昨年度、聖友乳児院にて心理療法担当を務める。主な著作に「電子メディアのある『日常』」：「ゲームを介した人間関係」、「インターネットの心理学」：「インターネットセラピー」等がある。

2006ねん
夏の日の思い出

待ちに待ってた夏休み！

今年も子どもたちはたくさん

楽しい夏の思い出を作りました！



大きな口をあけてハイチーズ！

8がつ1にち くもり

分園のけやきホームはこの夏、日
 帰りで富士急ハイランドにいつてき
 ました。当日は絶叫マシーンに乗り
 まくる怖いもの知らず組みと、スワン
 ポートやガンダムショップを楽しむ
 のんびり組に分れての行動。夕食は
 みんなで食べ、その後閉園時間ま
 で目一杯楽しんでできました。

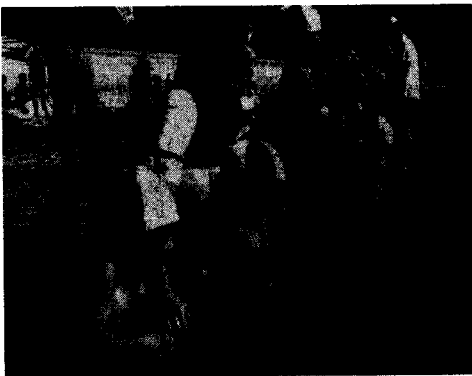




いらっしゃい！いらっしゃい！

8がつ7・8・9にち あめ

聖友学園の2才、3才の小さい子どもたちは招待行事で2泊3日の興津臨海の旅行に行ってきました。残念ながら台風のため海には一日も入れず…。初日だけにちょっと水際で遊ぶことができました。初めての海にみんなはじめはこわごわ……！



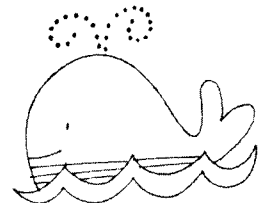
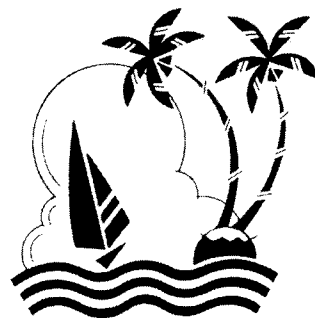
初めての海に興味津々～☆

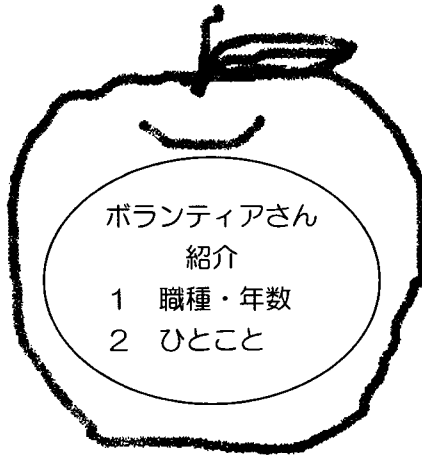
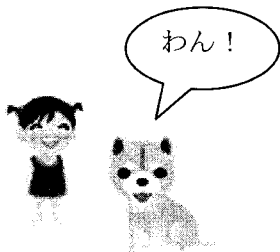
8がつ6にち はれ

年に何度か阿佐ヶ谷松山通り商店街交友会主催の「ゆうやけ市」が催されます。いろいろな模擬店やバザーなどの楽しいイベントがありますが、その中で聖友乳児院と聖友学園では、暑～い夏はカキ氷、その他の季節はポップコーンのお店を出店しています。子どもたちも一緒になって元気にお店を手伝います。みんな1度遊びに来てね！



ひええええ～・・・！！??





ボランティアさん
紹介
1 職種・年数
2 ひとこと

乳児院のボランティアさんをご紹介します。次のアンケートにお答えしていただきました。

このゆびとまれ

職種：処遇…子どもたちのお世話をする 用務…洗濯物の片付け、繕い物等をする

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 処遇のほうで18年です。 2. 目の前にいる子どもたちの成長を少しでもお手伝いしたいです。 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 処遇のほうで1年くらいです。 2. 保育の仕事は大変と実感しました。
<p>大内田寧子さん</p>		<p>工藤庄平さん</p>	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用務で1年です。 2. 社会の子どものニュースなどにも今まで以上に関心が出てきました。 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 4年です。 2. 子どもたちはかわいいですね☆
<p>坂本桃子さん</p>		<p>蕪山一恵さん</p>	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用務で9ヶ月、処遇で5ヶ月です。 2. 子どもたちと楽しく充実した時間を過ごさせて頂いています。 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 10年すぎました。 2. 一番新鮮な若い“気”を頂きに来ています。
<p>川口朋恵さん</p>		<p>塩見由利子さん</p>	

結味堂、三井精肉店、遠藤果実店、広瀬青物店、魚音、道原商店、小松屋豆腐店、越後屋米店、世尊院幼稚園園長大沢聖隆

△寄付物品▽

(株)ライオン、東京都食肉衛生共同組合、マリヤ、佐久間政子、原春男、佐藤則子、宮内由佳、岩本圭子、青木雅子、杉九小 大野先生 田中先生、西垣左恵子

△バースデーフレンド▽

小出邦子、森眞理子、野村栄子、神崎早苗、杉本千景、高山千賀子、宮秋智子、丸翠、角田馨、磯野和子、中島省吾、福山はつ子、善塔和子、村上千代子

△招待▽

東京ジャーナリストクラブ (凧揚げ)、ボランティアグループおもいつき (興津臨海)、ムジカルチエ林・高井清志 (ピアノリサイタル)、土橋・鈴木健シート (プロ野球観戦)、ニッセイ文化振興財団 (日生劇場ファミリーフェスティバル)、ヨシナリシート (Jリーグサッカー観戦)、(福) 読売光と愛の事業団 (アフガニスタン料理教室)、N FACTORY (ダンス発表会)、日本放送協会 (NHKこどもミュージカル)、読売巨人軍ドリームボックス (プロ野球観戦)

1 6 6 8 7 9 0

料金受取人払

杉並局
承認
1094

差出有効期間
平成19年5月
14日まで
(切手不要)

東京都杉並区阿佐谷北3-28-19

聖友ホーム「ぴーちっこ」係行

